

# 言語能力記述アンケート実施結果報告

中島 正剛

(東京外国語大学博士前期課程)

永田 真代

(東京外国語大学博士前期課程)

## 1. 言語能力記述枠組み開発の試みについて

### 1-1. 言語能力記述枠組みの必要性

言語を学習する際、その言語について自分がどのレベルに位置するのを知ることが重要である。複数の言語を学ぶ学習者にとっては、そのような指標が存在することにより、共通の枠組みで言語能力を測定することが可能となる。しかし残念ながら、現在の日本においては、複数の言語に対応した共通の枠組みが存在せず、個別の枠組みのみ開発がなされているのが現状である(和田 2004)。一方で、複数の言語が第二外国語として使用される欧米においては、共通の枠組みの必要性が早い段階で求められ、開発されてきた。特に、ACTFL や Canadian Benchmarks, Common European Framework of Reference (以下、CEFR。Appendix 表 1-1 参照)により、多言語多文化における言語教育を念頭に置いた枠組みが提案されている。

### 1-2. これまでの経緯

そこで、東京外国語大学 21 世紀 COE 「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」評価班(以下、評価班)は、複数の外国語を学習することのできる本学の学習者に対し、言語能力記述枠組みを開発することを目標に基礎的な研究を行ってきた。そして様々な基礎研究のもと、目的や性質などから、評価班が開発を目標とする枠組みの雛型として CEFR が参考になるのではないかと考えた。和田(2004)では、言語能力の評価という視点から CEFR を分析し、その特徴を考察した。その結果、能力をレベル分けするために異なる観点が設定されていること、また記述の観点が、同じ技能のなかでもレベルによって異なることが明らかになった。

### 1-3. 本研究の目的

評価班が、言語能力記述枠組みの雛型として採用する CEFR とは、欧州議会によって開発された、多言語を対象とした枠組みである。これは、ヨーロッパにおける言語教育の向

上のための一般的共通基盤を作成するという目的のもと開発された。特徴としては、学習者がコミュニケーションの手段として言語を使用する際に、何を学ぶべきかを記述すると同時に、関連する知識や技能、実際のコミュニケーションの場面やタスクについても記述している点が挙げられる。評価の対象となる技能は、Understanding (Reading, Listening), Writing (Writing), Speaking (Spoken Interaction, Spoken Production) の5つの技能で、A1からC2までの6段階のレベルに分けて、発達段階的に記述されている。

本研究では、このCEFRについてさらに分析を行い、考察を加える。前述の通り、CEFRが日本の言語教育環境とは異なる、多言語多文化における言語教育を念頭に置いた基準であることを考慮に入れ、まず実際に本学の学生がCEFRにおいてどのレベルに位置しているのかを調査した。また、CEFRの各技能において設定されている能力の発達段階の記述が、日本人学習者に対しても適応可能であるかということ进行を明らかにする。

#### 1-4. リサーチ・クエスチョンズ

上記の内容を踏まえ、本研究のリサーチ・クエスチョンズを以下のように設定した。

- (1) 東京外国語大学の学部1・2年生は現在CEFRにおけるどのレベルにまで到達しているのか？また、2年生終了時及び卒業時においてどのレベルにまで到達したいと考えているのか？
- (2) CEFRにおける言語能力記述の枠組みが、日本人外国語学習者に対しても適応可能であるか？

## 2. 研究の方法

### 2-1. アンケート

本研究では2種類のアンケートを使用して調査を行った。1つは、Council of Europe (2001; 26-27) の”Common Reference Levels: self-assessment grid”をそのまま使用して作成したアンケートである。ただし、調査を実施する際の被験者の負担を軽減するため、評価班で日本語訳を作成し、その日本語を読んでアンケートに回答してもらった（以下、このアンケートをCRL-Iと呼ぶ。Appendix表2-1-1参照）。

もう1つは、”Common Reference Levels: self-assessment grid”の各技能、各レベルに含まれる記述を、個別に切り離しアンケートとして使用した。切り離した項目をアンケートの形にする際、学習環境を考慮に入れた上で、実際の場面で経験する可能性が比較的に高く、場面が容易に想像しやすい項目を選んだ。たとえば、「読む」のA1レベルでは、「注

意書きやポスター、カタログなどに載っている、なじみのある物の名前や単語、そしてかなり単純な文を理解することができる」と記述されている。この記述をアンケートでは、No.11「ポスターやポストカードの短いメッセージをほとんど理解することができる」というようにアンケートの形にした。また、回答については「できる」「できない」の2つの回答で答えてもらうようにした。5つの技能から構成されるアンケートは、1つの技能につき6～9個の質問が設けられ、番号の早い方から順に困難度が高くなるように配列した。また、アンケートのNo.1～No.4の質問では、学習者の学年・回答している言語の学習背景・学習経験についての学習者情報を回答してもらうようにした。よって、アンケートは学習者情報に関する質問が4問、言語の能力に関する質問が34問の合計38問から構成されている（以下、このアンケートをCRL-IIと呼ぶ。Appendix表2-1-2参照）。ただし、今回は学習者情報の回答に関するデータを分析することはしなかったため、特に結果を提示することはしていない。

## 2-2. 被験者

調査は2005年1月27日と2月3日の2日にわたり、東京外国語大学の学部1・2年生を対象に大学の授業時間内で実施された。各日の被験者数の内訳は表2-2の通りである。

表2-2 被験者の内訳

1月27日

	1年生	2年生	計
英語専攻	24	7	31
他言語専攻	130	8	138
計	154	15	169

2月3日

	1年生	2年生	計
英語専攻	24	7	31
他言語専攻	134	9	143
計	158	16	174

1月27日が英語専攻の1年生が24名、2年生が7名、英語専攻を除く専攻語（以下、他言語専攻）の1年生が130名、2年生が7名の計169名、2月3日が英語専攻の1年生が24名、2年生が7名、他言語専攻の1年生が134名、2年生が9名の計174名である。この授業の特性上、学部1年生が多く受講するため、被験者における1年生の占める割合が高くなっている。

なお、1月27日にCRL-Iを、2月3日にCRL-IIを実施した。

## 2-3. 研究及びデータ分析の方法

研究及びデータ分析は以下の手順で行った。

### 2-3-1. CRL-I に関して

- (1) 被験者に自分の「英語能力」に関して、CRL-Iの「聞く・読む・やりとり・発表・書く」の5技能それぞれについて自分が現在到達していると思われる「現状レベル」をA1～C2の中から1つ選び、自分の学年の数字（1年生であれば「1」）に丸を付けて回答してもらった。また、2年生終了時と卒業時に自分が到達していきたい「期待レベル」をA1～C2の中から1つずつ選び、それぞれ「2」と「卒」に丸を付けて回答してもらった。
- (2) 他言語専攻の被験者には、自分の「専攻語能力」に関して、CRL-Iの「聞く・読む・やりとり・発表・書く」の5技能において現在到達していると思われる「現状レベル」をA1～C2の中から1つ選び、自分の学年の数字（1年生であれば「1」）に丸を付けて回答してもらった。また、2年生終了時と卒業時に自分が到達していきたい「期待レベル」をA1～C2の中から1つずつ選び、それぞれ「2」と「卒」に丸を付けて回答してもらった。
- (3) 回収した「英語能力」のアンケート（以下、英語能力アンケート）について、まずそれらを「学年別」に、さらに「専攻語別」（英語専攻か、他言語専攻か）に分別する作業を行った。その後、「現状レベル」と「期待レベル」に関して、学年・専攻語ごとにA1～C2を選択した被験者の割合をそれぞれ求めた。
- (4) 回収した「専攻語能力」のアンケート（以下、専攻語能力アンケート）について、それらを「学年別」に分別する作業を行った。その後、「現状レベル」と「期待レベル」に関して、学年ごとにA1～C2を選択した被験者の割合をそれぞれ求めた。
- (5) 各学年・専攻語ごとに被験者がCEFRのどのレベルに到達しているのかを見るために、両アンケートの「現状レベル」において、「聞く・読む・やりとり・発表・書く」の5技能それぞれについて、A1～C2の中で被験者が丸を付けた割合が60%を超えるレベルをその学年、その専攻語を代表する「言語能力像」とした。ただし、最も高い

割合が60%に満たない場合は、最も高い割合のレベルと、その次に高い割合のレベルの両方を代表する「言語能力像」とした。

- (6) 各学年・専攻語ごとに被験者が2年生終了時と卒業時にCEFRのどのレベルに到達していたかを見るために、両アンケートの「期待レベル」において、「聞く・読む・やりとり・発表・書く」の5技能それぞれについて、A1～C2の中で被験者が丸を付けた割合が60%を超えるレベルをその学年、その専攻語の学生が到達していた「言語能力像」とした。ただし、最も高い割合が60%に満たない場合は、最も高い割合のレベルと、その次に高い割合のレベルの両方を将来到達したい「言語能力像」とした。

### 2-3-2. CRL-II に関して

- (1) 「英語能力」に関して、“Common Reference Levels: self-assessment grid”の Understanding (Reading, Listening), Writing (Writing), Speaking (Spoken Interaction, Spoken Production) を「聞く・読む・やりとり・発表・書く」の5技能として、自分の能力に関する質問に、「できる」「できない」のどちらかで回答してもらった。
- (2) 英語専攻以外の被験者には、「専攻語能力」に関して、同様に「聞く・読む・やりとり・発表・書く」の5技能の自分の能力に関する質問に、「できる」「できない」のどちらかで回答してもらった。
- (3) 回収した「英語能力アンケート」について、まずそれらを「学年別」に、さらに「専攻語別」（英語専攻か、英語以外の他言語専攻か）に分ける作業を行った。その後、「できる」「できない」と回答した被験者の割合をそれぞれ求めた。
- (4) 回収した「専攻語能力アンケート」について、それらを「学年別」に分ける作業を行った。その後、「できる」「できない」と回答した被験者の割合をそれぞれ求めた。
- (5) 両アンケートでは、60%を基準として設定し、「聞く・読む・やりとり・発表・書く」の5技能に関する質問について、60%を超える「できる」の回答をその技能における、学年、専攻語を代表する「言語能力像」とした。

### 2-3-3. CRL-I と CRL-II の回答の比較検証

2-1 で述べたように、CRL- I が1つのグリッドの中に様々な言語的な要素が入っている「マクロ的」なものであるのに対し、CRL- IIはその要素を1つ1つ切り離れた「ミクロ的」なものである。それゆえ、この2種類のアンケートの回答結果を比較することにより、CEFRにおいて同レベルに設定されている項目の中には、日本人学習者にとってレベルが異なる可能性のある項目を見つけることができるのではないかと考え、分析を以下のような手順で行った。

- (1) 英語能力アンケートについて、CRL- IIの質問項目をCEFRのA1～C2のレベルに対応させた。その上で、各学年・専攻語別にCRL- Iで代表する能力像とされたCEFRレベルと、CRL- IIで代表する能力像とされた項目のCEFRレベルを比較した。
- (2) 専攻語能力アンケートについて、CRL- IIの質問項目をCEFRのA1～C2のレベルに対応させた。その上で、各学年・専攻語別にCRL- Iで代表する能力像とされたCEFRレベルと、CRL- IIで代表する能力像とされた項目のCEFRレベルを比較した。

#### 2-3-4. CRL- IIの項目分析

CEFRにおける言語能力記述の枠組みが、日本人外国語学習者に対しても適応可能であるかどうかを更に検証するために、CRL- IIの結果を用いて、以下のような分析を行った。

- (1) CRL- IIにおける被験者の回答を、テストにおける解答とみなし、「できる」と回答した項目を正解、「できない」と回答した項目を不正解とみなし、Xcalibreというソフトを使用して項目応答理論による分析を行い、各アンケート項目の「項目困難度」・「項目弁別力」・「当て推量の可能性」を求めた。
- (2) Xcalibreによって算出された「項目困難度」に基づき、各アンケートの項目を「易しい項目」から「難しい項目」へと並べ替え、CEFRに基づくレベル分けの順序と合致するかどうかを検証した。

### 3. 結果

#### 3-1. CRL- I に関して

##### 3-1-1. 英語能力アンケート

CRL- Iにおける英語能力アンケートの結果はAppendix表3-1-1の通りである。以下、専攻語別・学年別に結果を見ていく。

### 3-1-1-1. 英語専攻 1 年生

英語専攻 1 年生の英語能力を代表する言語能力像は、「聞く」に関しては CEFR における B1, 「読む」に関しては B1・B2, 「やりとり」に関しては B1・A2, 「発表」に関しては B1・B2, 「書く」に関しては B2 であった。

2 年生終了時の「期待レベル」は、「聞く」に関しては C1・B2, 「読む」に関しては C1, 「やりとり」に関しては B2・C1, 「発表」に関しては B2・C1, 「書く」に関しては C1 であった。

卒業時の「期待レベル」は「聞く」・「読む」・「やりとり」・「発表」・「書く」の 5 技能全てで C2 であった。

### 3-1-1-2. 英語専攻 2 年生

英語専攻 2 年生の英語能力を代表する言語能力像は、「聞く」に関しては B1・A2, 「読む」に関しては B2, 「やりとり」に関しては B1, 「発表」に関しては B1, 「書く」に関しては B2・C1 であった。

2 年生終了時の「期待レベル」は、「聞く」に関しては B2・C1, 「読む」に関しては C1, 「やりとり」に関しては B2, 「発表」に関しては B2, 「書く」に関しては C1 であった。

卒業時の「期待レベル」は「聞く」・「読む」・「発表」・「書く」の 4 技能で C2, 「やりとり」に関しては C1・C2 であった。

### 3-1-1-3. 他言語専攻 1 年生

他言語専攻 1 年生の英語能力を代表する言語能力像は、「聞く」に関しては B1, 「読む」に関しては B1・B2, 「やりとり」に関しては A2・B1, 「発表」に関しては B1, 「書く」に関しては B1・B2 であった。

2 年生終了時の「期待レベル」は、「聞く」に関しては B2・B1, 「読む」に関しては C1・B2, 「やりとり」に関しては B1・B2, 「発表」に関しては B2・C1, 「書く」に関しては B2・C1 であった。

卒業時の「期待レベル」は「聞く」・「やりとり」・「発表」の 3 技能で C1・C2, 「読む」・「書く」の 2 技能で C2・C1 であった。

### 3-1-1-4. 他言語専攻 2 年生

他言語専攻 2 年生の英語能力を代表する言語能力像は、「聞く」に関しては B2・A2・B1 (A2 と B1 が同率), 「読む」に関しては B1, 「やりとり」に関しては A2・B1, 「発表」に関しては B1・A2, 「書く」に関しては B1 であった。

また, 2 年生終了時の「期待レベル」は、「聞く」に関しては B2・B1, 「読む」に関し

ては B2, 「やりとり」に関しては B1, 「発表」に関しては B1・B2, 「書く」に関しては B2 であった。

卒業時の「期待レベル」は, 「聞く」に関しては C2・C1・B2 (C1 と B2 が同率), 「読む」と「書く」に関しては C1, 「やりとり」と「発表」に関しては C1・B2・C2 (B2 と C2 が同率) であった。

### 3-1-2. 専攻語能力アンケート

CRL-I における専攻語能力アンケートの結果は Appendix 表 3-1-2 の通りである。以下, 学年別に結果を見て行く。

#### 3-1-2-1. 他言語専攻 1 年生

他言語専攻 1 年生の専攻語能力を代表する言語能力像は, 「聞く」に関しては A2・A1, 「読む」に関しては A2・B1, 「やりとり」に関しては A1・A2, 「発表」に関しては A1・A2, 「書く」に関しては A2・A1 であった。

2 年生終了時の「期待レベル」は, 「聞く」に関しては B1・B2, 「読む」に関しては B2・B1, 「やりとり」に関しては B1・B2, 「発表」に関しては B1・B2, 「書く」に関しては B2・B1 であった。

卒業時の「期待レベル」は「聞く」・「読む」・「やりとり」・「発表」・「書く」の 5 技能全てで C1・C2 であった。

#### 3-1-2-2. 他言語専攻 2 年生

他言語専攻 2 年生の専攻語能力を代表する言語能力像は, 「聞く」に関しては B1・A2, 「読む」に関しては B1, 「やりとり」に関しては B1・A2, 「発表」に関しては B1・A2, 「書く」に関しては B1 であった。

2 年生終了時の「期待レベル」は, 「聞く」に関しては B1・B2, 「読む」に関しては B2, 「やりとり」に関しては B2・B1, 「発表」に関しては B1・B2, 「書く」に関しては B2 であった。

卒業時の「期待レベル」は「聞く」に関しては B2・C1, 「読む」に関しては C1・C2, 「やりとり」・「発表」・「書く」の 3 技能で C1 であった。

## 3-2. CRL-II に関して

### 3-2-1. 英語能力アンケート

英語能力アンケートの結果は Appendix 表 3-2-1 の通りである。以下, 専攻語別・学年



別に結果を見て行く。

#### 3-2-1-1. 英語専攻 1 年生

英語能力について、英語専攻 1 年生が「できる」と回答した項目は、「聞く」に関しては No.8、「読む」に関しては No.15、「やりとり」に関しては No.20（但し、No.22 についても 60%を超える回答の割合が得られた）、「発表」に関しては No.26、「書く」に関しては No.36 であった。

#### 3-2-1-2. 英語専攻 2 年生

英語能力について、英語専攻 2 年生が「できる」と回答した項目は、「聞く」に関しては No.8、「読む」に関しては No.15、「やりとり」に関しては No.20（但し、No.22 についても 60%を超える回答の割合が得られた）、「発表」に関しては No.28、「書く」に関しては No.35 であった。

#### 3-2-1-3. 他言語専攻 1 年生

英語能力について、英語以外の言語を専攻する 1 年生が「できる」と回答した項目は、「聞く」に関しては No.7、「読む」に関しては No.14、「やりとり」に関しては No.19、「発表」に関しては No.26、「書く」に関しては No.34 であった。

#### 3-2-1-4. 他言語専攻 2 年生

英語能力について、英語以外の言語を専攻する 2 年生が「できる」と回答した項目は、「聞く」に関しては No.8、「読む」に関しては No.14、「やりとり」に関しては No.21、「発表」に関しては No.26、「書く」に関しては No.34 であった。

### 3-2-2. 専攻語能力アンケート

専攻語能力アンケートの結果については Appendix 表 3-2-2 の通りである。以下、専攻語別・学年別に結果を見ていく。なお、この専攻語能力アンケートにおいて、評価班のアンケートに作成上のミスがあり、No.10 についての回答が得られなかったため分析からは除外されている。

#### 3-2-2-1. 他言語専攻 1 年生

専攻語能力について、他言語専攻 1 年生が「できる」と回答した項目は、「聞く」に関しては No.5（但し、No.7 についても 60%を超える回答の割合が得られた）、「読む」に関し

ては No.11, 「やりとり」に関しては No.18, 「発表」に関しては No.24, 「書く」に関しては No.32 であった。

### 3-2-2-2. 他言語専攻 2 年生

専攻語能力について, 他言語専攻 2 年生が「できる」と回答した項目は, 「聞く」に関しては No.7, 「読む」に関しては No.14, 「やりとり」に関しては No.20, 「発表」に関しては No.26, 「書く」に関しては No.34 であった。

## 3-3. CRL-I と CRL-II の回答の比較検証

### 3-3-1. 英語能力アンケート

#### 3-3-1-1. 英語専攻 1・2 年生

英語専攻 1・2 年生の英語能力について CRL-I と CRL-II の回答にずれが見られた項目は下記の表 3-3-1-1 の通りである。"No."は CRL-II におけるアンケート項目の番号, "can"は CRL-II において被験者がその項目に「できる」と回答した割合, CRL-I は CRL-II における各項目が CRL-I のどのレベルに対応しているかを表している。また, 色の付いている箇所は, CRL-I・CRL-II において, 3-1・3-2 で代表する「言語能力像」とされ, すでに被験者が到達していると考えられるレベルを示している。

表 3-3-1-1 英語能力アンケートの回答にずれが見られた項目  
(英語専攻 1・2 年生)

英語専攻 1 年生 (24 人)				英語専攻 2 年生 (7 人)			
	No.	can	CRL-I		No.	can	CRL-I
聞く	5	100.00	A1	聞く	5	100.00	A1
	6	100.00	A2		6	100.00	A2
	7	100.00	B1		7	100.00	B1
	8	75.00	B2		8	85.71	B2
	9	37.50	B2		9	57.14	B2
	10	30.43	C1		10	14.29	C1
				発表	24	100.00	A1
					25	100.00	B1
					26	100.00	B1
					27	71.43	B1
					28	71.43	B2
					29	0.00	C1/2

1 年生の「聞く」では, CRL-I では B1 レベルに留まっているが, CRL-II では CEFR の B2 レベルに相等する No. 8 まで被験者が「できる」と答えた割合が 60%を超えている。これは 2 年生の「聞く」においても同様の結果となっている。また, 2 年生の「発表」で

は、CRL-I では B1 レベルに留まっているが、CRL-II では B2 レベルに相等する No.28 まで「できる」と答えた割合が 60%を超える結果となった。

### 3-3-1-2. 他言語専攻 1・2 年生

他言語専攻 1・2 年生の英語能力について CRL-I と CRL-II の回答にずれが見られた項目はなかった。

### 3-3-2. 専攻語能力アンケート

#### 3-3-2-1. 他言語専攻 1・2 年生

他言語専攻 1・2 年生の専攻語能力について CRL-I と CRL-II の回答にずれが見られた項目はなかった。

## 3-4. CRL-II の項目分析

### 3-4-1. 英語能力アンケートに関して

Xcalibre によって算出された CRL-II の英語能力アンケートの各項目の「項目困難度」・「項目弁別力」・「当て推量の可能性」は表 3-4-1 の通りである。なお、技能ごとに「項目困難度」の数値が低いものから高いものへとなるように順序を並べ替えた。また、「読む」のアンケート項目 No.11 は被験者全員が「できる」と回答したため、分析から除外された。

「項目困難度」とは、あるテスト項目の難易度を示しており、-3 から+3 までの間の数値で示される。-3 が最も易しい項目、+3 が最も難しい項目である。「項目弁別力」とは、あるテスト項目が能力の高い受験者と低い受験者を弁別することができる度合い（大友 1996: 32）のことである。「当て推量の可能性」とは、当て推量で正答する可能性がどれほどあるかを示す指標である。

項目困難度の数値が低い方から順に、「聞く」では No.7, No.5, No.6, No.8, No.9, No.10, 「読む」では No.14, No.13, No.12, No.15, No.17, No.16, 「やりとり」では No.18, No.19, No.20, No.22, No.21, No.23, 「発表」では No.24, No.25, No.26, No.27, No.28, No.29, 「書く」では No.30, No.31, No.32, No.33, No.34, No.35, No.36, No.38, No.37 であった。

表 3-4-1 英語能力アンケートの各項目の  
「項目困難度」・「項目弁別力」・「当て推量の可能性」

	No.	項目困難度	項目弁別力	当て推量
聞く	7	-2.69	1.54	0.13
	5	-1.59	1.36	0.13
	6	-1.28	1.37	0.13
	8	0.13	1.29	0.13
	9	1.34	1.42	0.12
	10	1.77	1.40	0.12
読む	11	—	—	—
	14	-2.52	1.53	0.13
	13	-2.16	1.35	0.13
	12	-1.78	1.32	0.13
	15	0.13	1.14	0.14
	17	1.76	1.32	0.14
	16	1.95	1.56	0.11
やりとり	18	-1.09	1.52	0.13
	19	-0.66	1.53	0.13
	20	-0.11	1.62	0.12
	22	0.48	1.49	0.13
	21	0.96	1.31	0.12
	23	2.87	1.53	0.10
発表	24	-1.59	1.49	0.13
	25	-1.48	1.40	0.13
	26	-0.62	1.49	0.13
	27	1.20	1.58	0.12
	28	1.20	1.70	0.11
	29	2.31	1.51	0.10
書く	30	-2.35	1.40	0.13
	31	-2.00	1.28	0.13
	32	-1.94	1.65	0.13
	33	-1.60	1.57	0.13
	34	-1.01	1.25	0.13
	35	0.73	1.60	0.12
	36	1.56	1.50	0.11
	38	2.60	1.56	0.10
	37	2.79	1.57	0.10

### 3-4-2. 専攻語能力アンケート

Xcalibre によって算出された CRL-II の専攻語能力アンケートの各項目の「項目困難度」・「項目弁別力」・「当て推量の可能性」は表 3-4-2 の通りである。こちらも技能ごとに「項目困難度」の数値が低いものから高いものへとなるように順序を並べ替えた。なお、Xcalibre による分析の結果、「聞く」のアンケート項目 No.5 はミスフィットであると判断された。

項目困難度の数値が低い方から順に、「聞く」では No.7, No.5, No.6, No.8, No.9, No.10, 「読む」では No.11, No.14, No.12, No.13, No.17, No.15, No.16, 「やりとり」では No.18, No.19, No.20, No.22, No.21, No.23, 「発表」では No.24, No.25, No.26, No.27, No.28, No.29, 「書く」では No.30, No.31, No.32, No.33, No.34, No.35, No.36, No.37, No.38 であった。

表 3-4-2 専攻語能力アンケートの各項目の  
「項目困難度」・「項目弁別力」・「当て推量の可能性」

	No.	項目困難度	項目弁別力	当て推量
聞く	7	-1.29	1.86	0.10
	5	-0.57	1.75	0.10
	6	-0.08	1.80	0.10
	8	1.51	2.09	0.09
	9	1.65	2.02	0.09
	10	2.35	1.77	0.12
読む	11	-0.71	1.92	0.10
	14	-0.10	1.60	0.10
	12	-0.06	1.68	0.10
	13	0.07	1.96	0.10
	17	1.68	1.98	0.09
	15	1.88	1.99	0.09
	16	2.04	2.01	0.09
やりとり	18	-0.92	1.65	0.10
	19	0.07	1.75	0.10
	20	0.61	2.00	0.10
	22	1.38	2.06	0.09
	21	1.58	1.99	0.09
	23	2.04	2.01	0.09
発表	24	-0.76	1.95	0.10
	25	-0.11	1.77	0.10
	26	0.70	1.86	0.10
	27	1.47	2.07	0.09
	28	1.63	2.05	0.09
	29	2.20	1.99	0.09
書く	30	-1.10	1.56	0.10
	31	-0.60	1.63	0.10
	32	-0.42	1.85	0.10
	33	0.30	1.83	0.10
	34	0.76	1.71	0.10
	35	1.75	2.03	0.09
	36	2.04	2.01	0.09
	37	2.20	1.99	0.09
	38	2.37	1.93	0.09

## 4. 考察

### 4-1. CRL- I に関して

#### 4-1-1. 英語能力アンケート

##### 4-1-1-1. 英語専攻 1 年生

英語専攻 1 年生の英語能力に関して現状では、全体的に見て CEFR における B1 程度と考えることができる。ただし、「読む」に関して B2 を選択した被験者の割合が 41.7%と高く、「やりとり」に関して A2 を選択した被験者の割合が 37.5%と高めであった。これは、被験者の多くがこれまで読解重視の日本の英語教育を受けてきており、英語での会話のやりとりをあまり経験していないためであると考えられる。また、「書く」に関して B2 を選択した被験者の割合が 66.7%と高めであった。これは、英語専攻の学生は大学の授業においてパラグラフィティングの指導を受け、実際に英語でエッセイやレポートを書くということを経験しているためであると考えられる。

「期待レベル」に関しては、5 技能全てで 2 年生終了時には C1 に、卒業時には C2 にまで到達したいと考えており、非常に高い目標を持っている学生が多いと言える。

##### 4-1-1-2. 英語専攻 2 年生

英語専攻 2 年生の英語能力に関して現状では、全体的に見て CEFR における B1 程度と考えることができる。これは、英語専攻 1 年生と同様の結果である。1 年生に比べ、大学において 1 年多く英語教育を受けているが、CEFR でのレベルの向上は見られない。このことは、CEFR のレベルで 1 段階上がることの難しさを示している。ただし、被験者数が 7 名であるため一般化はし難く、より多くの被験者数で更に調査をする必要があると思われる。

「期待レベル」に関しては、5 技能全てで 2 年生終了時には B2 もしくは C1 に、卒業時には「やりとり」に関しては C1 もしくは C2、それ以外の技能に関しては C2 にまで到達したいと考えている。被験者数は 7 名ではあるが、英語専攻の 1 年生に比べ、若干期待レベルが下がっている。これは 2 年近く大学において専攻語として英語を学び、英語力を向上させることの難しさを認識したためではないかと考えられる。

##### 4-1-1-3. 他言語専攻 1 年生

他言語専攻 1 年生の英語能力に関して現状では、全体的に見て CEFR における B1 程度と考えることができる。「読む」に関して B2 を選択した被験者の割合が 38.5%と高く、「やりとり」に関して A2 を選択した被験者の割合が 47.7%と高めなのは、4-1-1-1 の英語専攻 1 年生と同様、被験者の多くがこれまで読解重視の日本の英語教育を受けてきているため

であると考えられる。

「期待レベル」に関しては、5技能全てで2年生終了時にはB2に、卒業時には「読む」・「書く」に関してはC2に、「聞く」・「やりとり」・「発表」に関してはC1にまで到達したいと考えている。英語専攻1年生と比べると、やや目標が低くはなっているが、専攻語でないにもかかわらず、英語に対しても高い目標を持っている学生が多いと言えることができる。

#### 4-1-1-4. 他言語専攻2年生

他言語専攻2年生の英語能力に関して現状では、全体的に見てCEFRにおけるB1程度と考えることができる。これは、他言語専攻1年生と同様の結果である。1年生に比べ、大学において1年多く英語教育を受けているが、CEFRでのレベルの向上が見られないのは、英語専攻2年生と同様である。ただし、こちらの場合も被験者数が8名であるので一般化は難しく、より多くの被験者数で更に調査をする必要があると思われる。

「期待レベル」に関しては、2年生終了時にはB1もしくはB2に、卒業時には全ての技能でC1程度にまで到達したいと考えている。被験者数は8名ではあるが、他言語専攻1年生に比べ、若干期待レベルが下がっている。これは英語専攻2年生と同様、2年近く大学において英語を学び、英語力を向上させることの難しさを認識したためであると考えられる。

#### 4-1-2. 専攻語能力アンケート

##### 4-1-2-1. 他言語専攻1年生

他言語専攻1年生の専攻語能力に関して現状では、全体的に見てCEFRにおけるA1・A2程度と考えることができる。しかし、「読む」と「書く」に関しては、B1を選択した被験者の割合が他の技能に比べ高くなっており、このことは大学における言語教育が音声を介した技能に比べ、文字を介した技能により重点を置いていることを示唆している可能性がある。

「期待レベル」に関しては、2年生終了時にはB1・B2に、卒業時にはC1・C2にまで到達したいと多くの被験者が考えている。ほとんどの学生が大学に入学してから専攻語を学び始めるにもかかわらず、高い目標を持っていると言えることができる。

##### 4-1-2-2. 他言語専攻2年生

他言語専攻2年生の専攻語能力に関して現状では、全体的に見てCEFRにおけるB1程度と考えることができる。他言語専攻1年生と比べ、CEFRでのレベルが1、2段階高くなっているが、これは専攻語はほとんどの学生が大学に入学してから学び始めることもあ

り、中学校から学習を開始する英語に比べ、大学での伸び率が高いためであると考えられる。ただし、被験者数が8名であるので一般化はし難く、より多くの被験者数で更に調査をする必要があると思われる。

「期待レベル」に関しては、2年生終了時にはB1・B2に、卒業時にはC1にまで到達したいと多くの被験者が考えている。被験者数は8名であるが、他言語専攻1年生に比べ、若干期待レベルが下がっている。これは「英語能力アンケート」の結果にも見られるように、2年近く大学にて専攻語を学び、その言語の能力を向上させることの難しさを認識したためであると考えられる。

## 4-2. CRL-IIに関して

### 4-2-1. 英語能力アンケート

#### 4-2-1-1. 英語専攻1年生

英語専攻1年生の英語能力についての回答によると、A1～C2に向かって「できる」と回答した被験者の割合が少なくなっていた。この結果から、おおよそCEFRの能力記述段階と対応していると言うことができる。ただし、「読む」のNo.12に関しては、No.11・No.13・No.14の回答が100%であったのに対し、91.67%と低めであった。これは、「広告やメニューの内容、観光スポットなどにある料金表」には語彙の制限はなく、「広告」などはその内容を理解するのが必ずしも易しいとは限らず、そのために難しいと感じた被験者がいたためであると考えられる。また、「やりとり」のNo.21に関しては、「できる」と回答した被験者の割合が45.83%と、前後の回答の割合に比べ非常に低めであった。これは、英語による電話での会話を実際に経験している被験者はまだ少なく、未経験のことだけに難しいように感じられたためと考えられる。また、「電話での会話」が、相手の表情、口の動き、ジェスチャーなどが見えず、聴覚的な情報に頼らざるを得ない状況であることと、その電話での会話を「流暢にできる」、もしくは「流暢にできない」という問い方をしたために、実際にはできる被験者であっても日本人特有の謙虚さから、「流暢にできない」の方を選択した可能性も否定できない。「書く」のNo.31に関しては、前後の項目に比べ、「できる」と回答した割合が低めであったが、このことから、学習者にとって「個人情報を書くこと」が、No.30の「短いメッセージ」や、No.32の「メモやメッセージを書くこと」に比べて難しいと判断していることが窺える。

#### 4-2-1-2. 英語専攻2年生

英語専攻2年生の英語能力についての回答によると、A1～C2に向かって「できる」と回答した被験者の割合が少なくなっていた。この結果から、おおよそCEFRの能力記述



段階と同様であると考えることができる。ただし、「やりとり」の No.19 に関しては、前後の回答の割合が 100%であるのに対し、「できる」と回答した割合が 85.71%と低めであった。このことから、No.18 の「日常の挨拶」や No.20 の「よく知っている内容や日常的な内容を話題にした会話」が、「日常生活に必要な短いやりとり」の例として挙げた「レストランでの注文を流暢にすること」に比べて、学習者にとって易しかったということが窺える。ただし、被験者数が 7 名であるため一般化はし難く、より多くの被験者数による調査が必要であると思われる。

#### 4-2-1-3. 他言語専攻 1 年生

他言語専攻 1 年生の英語能力についての回答によると、「聞く」・「読む」に関し、「できる」と回答した被験者の割合が、A1～C2 に向かって少なくなっておらず、CEFR で想定されている難易度の順序と異なっていることがわかる。まず、「聞く」に関しては「できる」と回答した割合が多いのが、No.7・No.5・No.6 という順序になった。No.7 に関しては、No.5・No.6 の回答の割合に比べ、「できる」と回答した被験者の割合が 99.25%と高めであった。これは、「授業中の簡単な指示（例：「教科書の xx ページを開きなさい」など）を聞いて」理解できるかどうかを尋ねた項目であるが、授業中の簡単な指示には「決まり文句」的な表現が多く、学習者が実際に経験することも多いため、易しいと判断したことが原因であると考えられる。また、「読む」に関しては、「できる」と回答した割合が多いのが、No.14・No.13・No.12 と、CEFR で想定されている能力記述の順序と逆になっている。これは、No.14「教科書に出てくるような簡単な物語」を理解できるかどうかを尋ねた項目であるが、日本の英語教科書に登場する物語が教育指導要領などの制約上、語彙的にも内容的にも比較的平易であるためであると考えられる。その一方で、No.12「広告やメニューの内容、観光スポットなどにある料金表」には語彙の制限はなく、「広告」などはその内容を理解するのが必ずしも易しいとは限らず、そのために難しいと感じた被験者も中にはいたのではないだろうか。これらの結果から、日本人学習者にとっては、CEFR で想定されている能力記述の順序が異なる項目が存在し、順序の並び替えが必要である可能性があることが示唆された。

#### 4-2-1-4. 他言語専攻 2 年生

他言語専攻 1 年生の英語能力についての回答によると、A1～C2 に向かって「できる」と回答した被験者の割合が少なくなっていく。この結果から、CEFR の能力記述段階とほぼ同様であると考えることができる。ただし、「聞く」の No.5 は「自分や家族や身の周りのことについての話を聞いて」理解できるかどうかを尋ねた項目であるが、No.6・No.7

に比べ、「できる」と回答した被験者の割合が低めであった。このことに関して、No.6・No.7ではアンケート項目に関して具体例の記述があるのに対し、No.5では具体例の記述がない。このことから、具体例の記述が無いことで被験者によってどのような話を想像するかが異なり、このような結果が導き出されたのではないかと考える。ただし、被験者数が9名であるため一般化はし難く、より多くの被験者数による調査が必要であると思われる。

## 4-2-2. 専攻語能力アンケート

### 4-2-2-1. 他言語専攻1年生

他言語専攻1年生の専攻語能力についての回答によるとA1～C2に向かって「できる」と回答した被験者の割合が少なくなっていた。この結果から、CEFRの能力記述段階とほぼ同様であると考えられる。ただし、「聞く」のNo.5・No.6・No.7に関しては、4-2-1-3.の英語の能力についての他言語専攻1年生の回答結果と同様、「できる」と答えた回答の割合が多いのが、No.7・No.5・No.6という順序になった。No.7は、「できる」と回答した被験者の割合が90.65%と非常に高めであったが、これは、「授業中の簡単な指示（例：「教科書のxxページを開きなさい」など）を聞いて」理解できるかどうかを尋ねた項目であるが、4-2-1-3.英語能力アンケートの他言語専攻1年生と同様、授業中の簡単な指示には「決まり文句」的な表現が多く、学習者が実際に経験することも多いため、易しいと判断したことが原因であると考えられる。No.5は「自分や家族や身の回りのことについて話を聞いて」理解できるかどうかを尋ねた項目であるが、具体例の記述が無いことで被験者によってどのような話を想像するかが異なり、No.6の「日常会話のなかで、少し複雑な内容（例：夏休み何をしたか、どのような仕事をしているのかなど）」というような具体例の制約が、被験者の回答に影響したため、このような結果が導き出されたのではないかと考える。

### 4-2-2-2. 他言語専攻2年生

他言語専攻2年生の専攻語能力についての回答によると、A1～C2に向かって「できる」と回答した被験者の割合が少なくなっていた。この結果から、CEFRの能力記述段階とほぼ同様であると考えられる。「聞く」のNo.7に関しては、No.5・No.6の回答の割合に比べ、「できる」と回答した被験者の割合が85.71%と高めであった。これは、「授業中の簡単な指示（例：「教科書のxxページを開きなさい」など）を聞いて」理解できるかどうかを尋ねた項目であるが、4-2-1-3.英語能力アンケートの他言語専攻1年生、4-2-2-2.専攻語能力アンケートの他言語専攻1年生と同様、授業中の簡単な指示には「決

まり文句」的な表現が多く、学習者が実際に経験することも多いため、易しいと判断したことが原因であると考えられる。ただし、被験者数が7名であるため一般化は難しく、より多くの被験者数による調査が必要であると思われる。

### 4-3. CRL-I と CRL-II の回答の比較検証

英語専攻1年生の「聞く」に関して、また英語専攻2年生の「聞く」と「発表」に関して、CRL-I で代表する「言語能力像」とされた CEFR のレベルと、CRL-II で代表する「言語能力像」とされた CEFR のレベルにずれが見られた。

英語専攻1年生の「聞く」に関して、CRL-I の回答の結果では代表する「言語能力像」がCEFRにおけるB1レベルであったのに対し、CRL-II の回答の結果ではB2レベルであったのは、CRL-I のB2レベルでは「複雑な議論でもついていくことができるか」を尋ねているのに対し、CRL-II のB2レベルに対応するNo.8の項目では「ある程度まとまった話や講義を聞いて理解できるか」を尋ねているためではないかと考えられる。また、CRL-I ではB2レベルの後半部の記述に「テレビのニュース」や「標準語の映画」の聞き取りが含まれており、日本人学習者にとってはこれらの聞き取りが難しいと感じられるため、このようなずれが生じたのではないだろうか。

英語専攻2年生の「聞く」に関しては、1年生の場合と同様の理由で回答にずれが生じていると考えられる。「発表」に関しては、CRL-I のB2レベルの記述では「自分の関心のある領域の様々なテーマについて、はっきりと詳細に説明することができる」かを尋ねているのに対し、CRL-II では「自分の関心のあるテーマについて話題を展開しながら話すことができる」かを尋ねているために、CRL-I の方が難しく感じられたためではないかと考えられる。

### 4-4. CRL-II の項目分析に関して

#### 4-4-1. 英語能力アンケート

「聞く」に関して、アンケート項目のNo.7は「授業中の簡単な指示（例：「教科書のxxページを開きなさい」など）を聞いて」理解できるかどうかを尋ねた項目であるが、この項目が最も易しい項目であった。これは、授業中の簡単な指示には「決まり文句」的な表現が多いため、その表現を知っているかどうかの影響が大きく、能力値をあまり反映しないためであると考えられる。また、No.8「ある程度まとまった話や講義を聞いて」とNo.9「テレビのニュースを聞いて」はCEFRの中では同じB2レベルに属する項目であるが、項目困難度の数値で1以上の差が付いた。これは、「ある程度まとまった話や講義」を英語で聞くことは実際に大学の授業において経験しているが、BBCなどの「テレビのニュース」

においてアナウンサーが話す英語の速度は日本人が通常耳にする英語に比べかなり速いため、多くの被験者が難しいと感じる。それゆえ、同じレベルに属する項目であっても、項目困難度の数値に差が生じたと考えられる。

「読む」に関して、アンケート項目の No.11「ポスターやポストカードの短いメッセージを読む」は被験者全員が「ほとんど理解できる」と回答した。これは、「短いメッセージ」という記述から、被験者は”Happy Birthday”や”Merry Christmas”など、非常に我々にとって馴染みのある分かり易いメッセージを想起したためであると考えられる。しかし、どのようなメッセージを想起するかによって、この項目の回答にはぶれが生じる可能性がある。また、No.14「教科書に出てくるような簡単な物語」が No.12 や No.13 よりも項目困難度の数値が低く算出された。これは日本の英語教科書に登場する物語が、教育指導要領などの制約上、語彙的にも内容的にも比較的平易であるためであると考えられる。その一方で、No.12「広告やメニューの内容、観光スポットなどにある料金表」には語彙の制限はなく、「広告」などはその内容を理解するのが必ずしも易しいとは限らず、そのために難しいと感じた被験者も中にはいたのではないだろうか。さらに、No.16 の「言語学や歴史などの専門書」を読むことの方が No.17 の「文学作品」を読むことよりも高い項目困難度の数値が算出された。これは被験者が学部の 1・2 年生であったために、専門書を読むという経験がまだ少なく、また「専門書」という言葉のイメージからも「難しいもの」というイメージを持ってしまっているために数値が高くなったのではないだろうか。「文学作品」は被験者がどのような「文学作品」を想定したかで回答が変化する可能性があるため、回答する際の基準が被験者に依存した可能性がある。

「やりとり」に関して、No.21「電話での会話」が、No.22「友達や親しい仲間うちでの簡単な議論」より項目困難度の数値が高く算出された。これは英語による電話での会話を実際に経験している被験者はまだ少なく、未経験のことだけに難しいように感じられたためと考えられる。また、電話での会話を「流暢にできる」、もしくは「流暢にできない」という問い方をしたために、実際にはできる被験者であっても日本人特有の謙虚さから、「流暢にできない」の方を選択した可能性も否定できない。

「発表」に関して、項目困難度はアンケートの順番の通りであった。No.25・26・27 は CEFR において同じ B1 レベルに属する項目であるが、項目困難度の数値に差が生じている。特に No.27「本や映画のあらすじについて」詳細に話すことができるかどうかは、B2 レベルの No.28 と同じ項目困難度の数値を示している。したがって、日本人学習者向けに言語能力記述を作成する際には、この項目は CEFR が想定するよりも高いレベルに設定する必要がある可能性を示唆している。

「書く」に関して、No.37 の項目の方が No.38 の項目より高い項目困難度の数値を示し

ている。これは No.37「専門的なレポートを」詳細に書くことと、No.38「公式な場面での手紙（例：ビジネスレターなど）を」適切な文体で書くことを比較した場合、「レポート」を書くことよりも、「手紙」を書くことの方が書き易い印象を持っているためではないかと考えられる。

#### 4-4-2. 専攻語能力アンケート

専攻語能力アンケートについても、英語能力アンケートとほぼ同様な結果となった。それゆえ、こちらでは英語能力アンケートと異なる結果となった箇所のみを考察に留める。

「聞く」に関して、Xcalibre による分析の結果、アンケート項目の No.5 がミスフィットであると判断された。これは、「自分や家族や身の回りのことについての話を聞いて」理解できるかどうかを尋ねた項目であるが、「自分や家族や身の回りのことについての話」といっても、被験者によってどのような話を想像するかが異なり、そのために能力の低い被験者でも「理解できる」と回答したり、能力の高い被験者でも「理解できない」と回答したりしてしまっただけではないかと考えられる。

「読む」に関して、アンケート項目 No.15 の「時事問題について書かれた新聞記事」の方が、No.17 の「文学作品」よりも高い項目困難度の数値が算出された。これは、No.17 の項目困難度が、被験者によってどのような「文学作品」を想像したかにぶれがあるために困難度の数値が低くなってしまったためであると考えられる。

「書く」に関して、英語能力アンケートでは項目困難度の順が No.37 と No.38 で入れ替わっていたが、こちらではアンケートの順番通りとなっている。この結果について明確な理由を見つけるのは困難であるが、多くの被験者にとってこれから先、専攻語でレポートを書くことはあっても、ビジネスレターなどの公式な場面の手紙を書くことはほとんどないことであり、そのためにより難しいものと感じられたのかもしれない。

## 5. 結論

今回の調査により、東京外国語大学の学部1・2年生の CEFR における言語能力レベルを把握することができた。また、データを分析することにより日本人学習者の能力の発達段階を知ることができ、CEFR が、日本人外国語学習者に適応可能であることがおおむね実証された。加えて、今後、本研究をさらに発展させるために、検討が必要となってくる事柄も明らかになった。それは、

- ・ 能力値が上がるにつれて、より難しいことを想像する傾向があること、アンケート項目

の能力値の幅が大きくなってしまったことなどから、アンケート項目内容を具体例とともに提示すること

- ・ 言語能力の自己評価を「できる」「できない」の2回答のみに限定せず、多段階で行わせること

などである。

これらの点を踏まえて、CEFRの能力記述に関して、よりミクロ的な視点からの分析・考察が必要となってくるのではないだろうか。

### 参考文献

大友賢二. (1996). 『項目応答理論入門』. 大修館書店.

和田朋子. (2004). 「TUFSS 言語能力記述モデル開発のための試み：Common European Framework (of Reference for Languages) の考察」. 『言語情報学研究報告書』No.5, 東京外国語大学 21世紀 COE プログラム, pp.89-102

Council of Europe. (2001). *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment*. Cambridge: Cambridge University Press.



学籍番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_ 学年： \_\_\_\_\_ 年

記入例

	A1	A2	B1	B2	C1	C2
聞く	ゆっくり、はっきりと話してもらえれば、自分のこと、家族のこと、あるいは身の回りのことに関する基本的な単語や基本的な文法を理解できる。	かなり個人的、かつ直接関連している領域についての語句や頻度の高い語を理解することができる(例えば、個人や家族についての基本的な情報、買い物、地元、職業など)。短く、明確で、単純なメッセージやアナウンスの要点を理解することができる。	職場や学校、あるいは余暇の時に普通に知っていることに関する明確な標準的な会話の要点を理解することができる。比較的ゆっくり、はっきりと話されれば、個人的にもしくは専門的に関心のあることについての現状や話題を扱っている多くのラジオやTV番組の要点を理解できる。	長い話や講義を理解することや、適度ななじみのある話題であれば、複雑な議論でもついていくことができる。ほとんどのTVニュースや時事問題を扱った番組を理解できる。標準語の映画なら大半は理解できる。	はっきりと話の筋道が見えなかったり、話の前後関係が暗示されていないにすぎず、明示的に示されていかなかったりしても、長い話を理解できる。それほど努力しなくても、俗話などのない映画やTV番組の大半の内容を理解することができる。	目の前のものであれ、放送されたものであれ、たとえネイティブ並みのスピードで話されたとしても、訛りに慣れるまでの時間がある程度あれば、どんな種類の話し言葉でも困難なく理解することができる。
理解する	「専攻語」に関して、自分が現在到達していると思われるレベルをA1～C2の中から1ヶ所選び、自分の学年の数字(1年生なら「1」)に丸印を付ける。	「専攻語」に関して、A1～C2の中から自分が「2」年生終了時に達していたレベル」と「卒業時に達していたレベル」の2ヶ所をそれぞれ「2」と「卒」に丸印を付ける。	「専攻語」に関して、自分が現在到達していると思われるレベルをA1～C2の中から1ヶ所選び、自分の学年の数字(1年生なら「1」)に丸印を付ける。	「英語」に関して、自分が現在到達していると思われるレベルをA1～C2の中から1ヶ所選び、自分の学年の数字(1年生なら「1」)に丸印を付ける。	「英語」に関して、自分が現在到達していると思われるレベルをA1～C2の中から1ヶ所選び、自分の学年の数字(1年生なら「1」)に丸印を付ける。	「英語」に関して、自分が現在到達していると思われるレベルをA1～C2の中から1ヶ所選び、自分の学年の数字(1年生なら「1」)に丸印を付ける。
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒
英語						
現状レベル						
期待レベル						



	A1	A2	B1	B2	C1	C2
聞く	ゆっくり、はっきりと話してもらえれば、自分のこと、家族のこと、あるいは身の回りのことに関するなじみのある単語や基本的な語句を理解できる。	かなり個人的、かつ直接関連している領域についての語句や頻度の高い語を理解することができる(例えば、個人や家族についての基本的な情報、買い物、地元、職業など)。短く、明確で、単純なメッセージやアナウンスの要点を理解することができる。	職場や学校、あるいは余暇の時などに普通に通耳にする、よく知っていることに関する明確で標準的な会話の要点を理解することができる。比較的ゆっくり、はっきりと話されれば、個人的に、もしくは専門的に関心のあることについての現状や話題を扱っている多くのラジオやTV番組の要点を理解できる。	長い話や講義を理解することができ、適度になじみのある話題であれば、複雑な議論でもついていくことができる。ほとんどのTVニュースや時事問題を扱った番組を理解できる。標準語の映画なら大半は理解できる。	はっきりとした話の筋道が見えなかったり、話の前後関係が暗示され、明示的に示されていないかたりして、長い話を理解できる。それほど努力しなくても、俗語などのない映画やTV番組の大半その内容を理解することができる。	目の前のものであれ、放送されたものであっても、たとえネイティブ並みのスピードで話されたとしても、訛りに慣れるまでの間に慣れる程度であれば、どんな種類の話し言葉でも困難なく理解することができる。
専攻語						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒
英語						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒

理解する

	A1	A2	B1	B2	C1	C2
読む	注意書きやポスター、カタログなどに載っている、なじみのある物の名前や単語、そしてかなり単純な文を理解できる。	かなり短く、単純な文章を読むことができる。広告、ポスターなどの案内書、メニュー、時刻表など、単純かつ日常的な資料の中にある、特定の、予測可能な情報を見つけることができる。また、短く簡単な個人的な手紙を理解することができる。	主に頻度が高く、日常的な、あるいは仕事と関係のある語彙で構成されている文章を理解できる。個人的な手紙の中で、出来事や気持ち、願望について書かれたことを理解できる。	作家がある特定の態度をとったり、ある特別な視点に立っている現代の問題に関する記事やレポートを読むことができる。現代の文学的な文章を理解することができる。	長くて複雑な、事実に基づいた文章や文学的な文章を、文体の特徴を味わいながら理解することができ、自分の専門分野でなくても、専門的な記事や、長めの専門的説明を理解することができる。	マニュアルや専門的な記事、文学作品などの、抽象的で、構造的、もしくは言語的に複雑な文章を含む、実質上どんな形式の書き言葉でも楽に読むことができる。
<b>専攻語</b>						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒
<b>英語</b>						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒

理解する

	A1	A2	B1	B2	C1	C2
やりとり	話をしている相手がゆっくりとした発話速度で繰り返してくれられたり、言い直してくれていることと頭の中を組み立てるのを助けてくれたりすれば、簡単なやりとりができる。差し迫った必要領域や、よく知っている話題に尋ねたり、答えたりすることができる。	よく知っている話題や活動についての情報を、簡単に、そして直にやりとりすることが要求される単純な決まり切った仕事においてコミュニケーションがとれる。たいていは自身で会話を続けられるほど理解することができなくても、非常に短い社交的なやりとりをすることができる。	その言語が話されている地域を旅している間、ほとんどの状況に対処できる。なじみがあったり、個人的に興味がある日常生活に関係する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、最近の出来事など）であれば、準備なしでその会話に参加することができる。	ネイティブスピーカーと通常の会話ができる程度に、流暢に、そして自然に会話のやりとりができて、気楽な状況において、自分の意見を説明やサポートをしながら、積極的に議論に参加できる。	明らかに言葉を探したりすることなく、流暢かつ自然に自己を表現することができ、社会的な、そして職業上の目的のために、柔軟に、そして効果的に言葉を使うことができる。正確に考えや意見を組み立て、自分の意見と他の人の意見をうまく結び付けることができる。	苦勞することなく、どんな会話や議論でも参加でき、熟語表現や口語表現にも慣れている。流暢に自己を表現し、細かな意味合いも正確に伝えることができる。問題が起こっても、前に戻って、その問題が生じている箇所を再構成するのを、他人がほとんど気付かないほどスムーズにすることができる。
	1・2・3・4 2・卒	1・2・3・4 2・卒	1・2・3・4 2・卒	1・2・3・4 2・卒	1・2・3・4 2・卒	1・2・3・4 2・卒
<b>専攻語</b>						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒
<b>英語</b>						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒

話す

	A1	A2	B1	B2	C1	C2
発表	住んでいるところや知っている人について話すのに、簡単な語句や文を使うことができる。	自分の家族やその他の人々、生活環境、教育的背景、現在やっている、もしくは最近までやっていた仕事について、一続きの語句や文を使って、簡単な言葉で説明ができる。	経験や出来事、自分の夢、希望、野望について単純に言葉をつなげて説明できる。自分の意見や計画に対する理由と説明を簡潔に言うことができる。物語の説明や、本や映画の概要を述べ、自分の感想を伝えることができる。	自分の関心のある領域の様々なテーマについて、はっきりと詳細に説明することができる。いろいろな選択肢の利点と欠点を挙げながら、話題になっていない問題の観点を説明することができる。	副次的な主題を含む複雑な話題についてはっきりと詳細に説明することができる。ある特定の重要な点を発展させながら、適切な結論で締めくくることができる。	文脈に適切な文脈で、かつ聞き手が重要な点に気づき、思いつくのを助けるような効果的な論理構成で、明確に、そして円滑に説明や議論をすることができる。
専攻語						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒
英語						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒	2・卒

話す

	A1	A2	B1	B2	C1	C2
書く	グリーティングカードのような、短く単純なハガキを書くことができる。名前や国籍や住所などをホテルの受付で記入するなど、個人情報を書類に記入することができる。	短くて簡単なメモやメッセージを書くことができる。誰かに何かのお礼を述べるといったような、簡単な個人的な手紙を書くことができる。	よく知っている、または個人的に興味のある話題について単純でつながりのある文章を書くことができる。経験や印象について述べた個人的な手紙を書くことができる。	自分に関心のある様々な話題について明確で詳細な文章を書くことができる。エッセイやレポートを書いて、情報を伝えたり、特定の見解を支持したりする理由を挙げたりすることができる。個人的に重要な出来事や経験を強調する手紙を書くことができる。	ある程度の長さで、観点を挙げながら明確かつ論理的な文章で自己を表現することができ。自分が重要だと思っ問題を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な話題について書くことができ。想定する読み手に合わせた文体を選択することができる。	適切な文体で、明確で、定まらない文章を書くことができる。読み手が重要な点に気付き、思い出すのを促進するよう効果的な論理構成によって主張を示す複雑な手紙やレポート、記事を書くことができる。専門的な作品の要約や批評を書くことができる。
<b>専攻語</b>						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2	2	2	2	2	2
<b>英語</b>						
現状レベル	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
期待レベル	2	2	2	2	2	2

書く

表 2-1-2 CRL-II

東京外国語大学言語能力記述モデルのための基礎調査（学生向け）  
21 世紀 COE 「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」

マークシートはしっかりと塗りつぶしてください。

●学籍番号、英語の能力に関する資格および検定をマークシートの右上に記入してください。

1 学年

1. 1 年生
2. 2 年生
3. 3 年生
4. 4 年生

2 英語を勉強した期間の長さ

1. 6 年未満。
2. 6 年以上で 10 年未満。
3. 10 年以上で 15 年未満。
4. 15 年以上で 18 年未満。
5. 18 年以上。

3 英語が使用されている国への旅行、滞在経験（期間については合計で記入してください。）

1. 行ったことがない。
2. 滞在したことがある。期間は 2 週間未満。
3. 滞在したことがある。期間は 2 週間以上で 1 ヶ月未満。
4. 滞在したことがある。期間は 1 ヶ月以上で半年未満。
5. 滞在したことがある。期間は半年以上で 1 年未満。
6. 滞在したことがある。期間は 1 年以上で 3 年未満。
7. 滞在したことがある。期間は 3 年以上で 5 年未満。
8. 滞在したことがある。期間は 5 年以上。

（ 3 の質問で 2.～8. と回答した方のみ）

4 英語が使用されている国に行っていた主な時期（複数回答可）

1. 小学校入学前
2. 小学校
3. 中学校
4. 高校
5. 大学

●以下の質問を読み、**英語の能力**について**今の自分**に当てはまるものを 1.~2.から選び、別紙のマークシートにぬりつぶすかたちで答えてください。

<聞く力について>

5. 自分や家族や身の回りのことについての話を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
6. 日常会話のなかで、少し複雑な内容を  
(例：夏休みに何をしたか、どのような仕事をしているのかなど)
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
7. 授業中の簡単な指示（例：「教科書の xx ページを開きなさい」など）を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
8. ある程度まとまった話や講義を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
9. テレビのニュースを
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
10. テレビドラマや映画を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない

<読む力について>

11. ポスターやポストカードの短いメッセージを
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
12. 広告やメニューの内容, 観光スポットなどにある料金表を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
13. 親しい人からの手紙を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
14. 教科書に出てくるような簡単な物語を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
15. 時事問題について書かれた新聞記事を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
16. 言語学や歴史などの専門書を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない
  
17. 文学作品を
  1. ほとんど理解できる
  2. ほとんど理解できない



<会話をする力について>

18. 日常の挨拶を

1. 流暢にできる
2. 流暢にできない

19. 日常生活に必要な短いやりとり（例：レストランでの注文など）を

1. 流暢にできる
2. 流暢にできない

20. よく知っている内容や日常的な内容を話題にした会話を

（例：家族，趣味，仕事，旅行，最近のできごと）

1. 流暢にできる
2. 流暢にできない

21. 電話での会話を

1. 流暢にできる
2. 流暢にできない

22. 友だちや親しい仲間うちでの簡単な議論に

1. 参加し，発言することができる
2. 参加し，発言することができない

23. 研究会や会議などの公式な場面での議論に

1. 参加し，発言することができる
2. 参加し，発言することができない

<発表する力について>

24. 住んでいるところや家族、友だちなどの身の回りの話題について
  1. 話すことができる
  2. 話すことができない
  
25. 自身の経験や自身に起きたできごと、夢や希望について
  1. 話すことができる
  2. 話すことができない
  
26. 自分の意見について
  1. 理由を加えながら話すことができる
  2. 理由を加えながら話すことができない
  
27. 本や映画のあらすじについて
  1. 詳細に話すことができる
  2. 詳細に話すことができない
  
28. 自分の関心あるテーマについて
  1. 話題を展開しながら話すことができる
  2. 話題を展開しながら話すことができない
  
29. 時事問題など複雑な話題について
  1. 話題を展開しながら話すことができる
  2. 話題を展開しながら話すことができない

<書く力について>

30. 絵はがきに書くような、短いメッセージ（例：「お誕生日おめでとう」など）を
  1. 書くことができる
  2. 書くことができない
  
31. ホテルのチェックイン手続きなどで必要な個人情報（例：名前、国籍、住所など）を
  1. 書くことができる
  2. 書くことができない
  
32. メモやメッセージを
  1. 書くことができる
  2. 書くことができない
  
33. 親しい人への手紙や個人的な日記を
  1. 書くことができる
  2. 書くことができない
  
34. よく知っている内容や興味のある話題についての作文を
  1. 書くことができる
  2. 書くことができない
  
35. 自分の関心のある分野のテーマについてのレポートを
  1. 詳細に書くことができる
  2. 詳細に書くことができない
  
36. 一般的なテーマについてのレポート（例：時事問題など）を
  1. 詳細に書くことができる
  2. 詳細に書くことができない
  
37. 専門的なレポートを
  1. 詳細に書くことができる
  2. 詳細に書くことができない
  
38. 公式な場面での手紙（例：ビジネスレターなど）を
  1. 適切な文体で書くことができる
  2. 適切な文体で書くことができない

表 3-1-1 英語能力アンケート結果

英語専攻1年生(24人)		能力像		能力像		能力像		能力像		能力像	
	レベル	割合(%)	能力像		レベル	割合(%)	能力像		レベル	割合(%)	能力像
聞く	A1	0.0	B1	聞く(2年)	A1	0.0	C1 B2	聞く(卒)	A1	0.0	C2
	A2	8.3			A2	0.0					
	B1	75.0			B1	0.0					
	B2	16.7			B2	45.8					
	C1	0.0			C1	54.2					
	C2	0.0			C2	0.0					
読む	A1	0.0	B1 B2	読む(2年)	A1	0.0	C1	読む(卒)	A1	0.0	C2
	A2	0.0			A2	0.0					
	B1	54.2			B1	0.0					
	B2	41.7			B2	33.3					
	C1	4.2			C1	62.5					
	C2	0.0			C2	4.2					
やりとり	A1	0.0	B1 A2	やりとり(2年)	A1	0.0	B2 C1	やりとり(卒)	A1	0.0	C2
	A2	37.5			A2	0.0					
	B1	45.8			B1	12.5					
	B2	16.7			B2	45.8					
	C1	0.0			C1	41.7					
	C2	0.0			C2	0.0					
発表	A1	4.2	B1 B2	発表(2年)	A1	0.0	B2/C1	発表(卒)	A1	0.0	C2
	A2	16.7			A2	0.0					
	B1	54.2			B1	0.0					
	B2	25.0			B2	50.0					
	C1	0.0			C1	50.0					
	C2	0.0			C2	0.0					
書く	A1	0.0	B2	書く(2年)	A1	0.0	C1	書く(卒)	A1	0.0	C2
	A2	8.3			A2	0.0					
	B1	16.7			B1	0.0					
	B2	66.7			B2	12.5					
	C1	8.3			C1	79.2					
	C2	0.0			C2	8.3					

英語専攻2年生(7人)

	レベル		割合(%)		能力像		レベル		割合(%)		能力像			
聞く	A1		0.0		聞く(2年)	B1 A2	A1		0.0	聞く(卒)	B2 C1	A1		0.0
	A2		28.6				A2		0.0					
	B1		42.9				B1		14.3					
	B2		14.3				B2		57.1					
	C1		14.3				C1		28.6					
	C2		0.0				C2		0.0					
読む	A1		0.0		読む(2年)	B2	A1		0.0	読む(卒)	C1	A1		0.0
	A2		0.0				A2		0.0					
	B1		14.3				B1		0.0					
	B2		71.4				B2		14.3					
	C1		14.3				C1		85.7					
	C2		0.0				C2		0.0					
やりとり	A1		0.0		やりとり(2年)	B1	A1		0.0	やりとり(卒)	B2	A1		0.0
	A2		14.3				A2		0.0					
	B1		71.4				B1		14.3					
	B2		14.3				B2		71.4					
	C1		0.0				C1		14.3					
	C2		0.0				C2		0.0					
発表	A1		0.0		発表(2年)	B1	A1		0.0	発表(卒)	B2	A1		0.0
	A2		0.0				A2		0.0					
	B1		85.7				B1		0.0					
	B2		14.3				B2		71.4					
	C1		0.0				C1		28.6					
	C2		0.0				C2		0.0					
書く	A1		0.0		書く(2年)	B2 C1	A1		0.0	書く(卒)	C1	A1		0.0
	A2		0.0				A2		0.0					
	B1		0.0				B1		0.0					
	B2		57.1				B2		14.3					
	C1		42.9				C1		71.4					
	C2		0.0				C2		14.3					

他言語専攻1年生(130人)

	レベル		割合(%)		能力像		レベル		割合(%)		能力像		レベル		割合(%)		能力像
	A1	A2	B1	B2			C1	C2	A1	A2			B1	B2	C1	C2	
聞く	A1		6.2		B1	聞く(2年)	A1		0.0		B2 B1	聞く(卒)	A1		0.0		C1 C2
	A2		26.9				A2		3.8				A2		0.0		
	B1		60.0				B1		19.2				B1		3.8		
	B2		5.4				B2		58.5				B2		8.5		
	C1		1.5				C1		16.9				C1		44.6		
	C2		0.0				C2		1.5				C2		43.1		
読む	A1		1.5		B1 B2	読む(2年)	A1		0.0		C1 B2	読む(卒)	A1		0.0		C2 C1
	A2		4.6				A2		1.5				A2		0.0		
	B1		53.8				B1		5.4				B1		3.1		
	B2		38.5				B2		40.8				B2		1.5		
	C1		1.5				C1		50.8				C1		36.2		
	C2		0.0				C2		1.5				C2		59.2		
やりとり	A1		9.2		A2 B1	やりとり(2年)	A1		0.8		B1/B2	やりとり(卒)	A1		0.0		C1 C2
	A2		47.7				A2		3.8				A2		1.5		
	B1		34.6				B1		40.0				B1		2.3		
	B2		8.5				B2		40.0				B2		25.4		
	C1		0.0				C1		13.1				C1		40.0		
	C2		0.0				C2		2.3				C2		30.8		
発表	A1		5.4		B1	発表(2年)	A1		0.0		B2 C1	発表(卒)	A1		0.0		C1 C2
	A2		23.8				A2		3.8				A2		0.8		
	B1		60.0				B1		16.2				B1		3.1		
	B2		10.0				B2		57.7				B2		10.0		
	C1		0.8				C1		21.5				C1		48.5		
	C2		0.0				C2		0.8				C2		37.7		
書く	A1		3.8		B1 B2	書く(2年)	A1		0.0		B2 C1	書く(卒)	A1		0.0		C2 C1
	A2		14.6				A2		1.5				A2		0.0		
	B1		52.3				B1		9.2				B1		2.3		
	B2		26.2				B2		48.5				B2		4.6		
	C1		3.1				C1		37.7				C1		36.2		
	C2		0.0				C2		3.1				C2		56.9		

他言語専攻2年生(8人)

	レベル		割合(%)		能力像		レベル		割合(%)		能力像		
聞く	A1		0.0		聞く(2年)	B2 A2/B1	A1		0.0	聞く(卒)	A1		0.0
	A2		25.0				A2		0.0				
	B1		25.0				B1		25.0				
	B2		37.5				B2		50.0				
	C1		0.0				C1		12.5				
	C2		12.5				C2		12.5				
読む	A1		0.0		読む(2年)	B1	A1		0.0	読む(卒)	A1		0.0
	A2		0.0				A2		0.0				
	B1		62.5				B1		12.5				
	B2		25.0				B2		62.5				
	C1		0.0				C1		12.5				
	C2		12.5				C2		12.5				
やりとり	A1		0.0		やりとり(2年)	A2 B1	A1		0.0	やりとり(卒)	A1		0.0
	A2		50.0				A2		0.0				
	B1		37.5				B1		62.5				
	B2		0.0				B2		25.0				
	C1		12.5				C1		12.5				
	C2		0.0				C2		0.0				
発表	A1		0.0		発表(2年)	B1 A2	A1		0.0	発表(卒)	A1		0.0
	A2		37.5				A2		0.0				
	B1		50.0				B1		50.0				
	B2		12.5				B2		50.0				
	C1		0.0				C1		0.0				
	C2		0.0				C2		0.0				
書く	A1		0.0		書く(2年)	B1	A1		0.0	書く(卒)	A1		0.0
	A2		0.0				A2		0.0				
	B1		62.5				B1		0.0				
	B2		25.0				B2		87.5				
	C1		12.5				C1		12.5				
	C2		0.0				C2		0.0				

表 3-1-2 専攻語能力アンケート結果

他言語専攻1年生(121人)

	レベル		割合(%)		能力像			レベル		割合(%)		能力像								
	A1	A2	B1	B2	A1	A2		B1	B2	C1	C2	A1	A2	B1	B2	C1	C2			
聞く	A1	42.1	A2	49.6	A1	0.8	A2	6.6	聞く(卒)	A1	0.0	A2	0.0	聞く(卒)	A1	0.0	A2	0.0		
	B1	2.5	B2	2.5	B1	53.7	B2	3.3		B1	0.0	B2	3.3		B1	3.3	B2	14.9	C1	50.4
	C1	2.5	C2	0.8	C1	5.8	C2	3.3		C1	5.8	C2	3.3		C1	5.8	C2	3.3	C1	50.4
	A1	14.0	A2	58.7	A1	0.0	A2	0.0		A1	0.0	A2	0.0		A1	0.0	A2	0.0	A1	0.0
	B1	19.8	B2	3.3	B1	30.6	B2	56.2		B1	30.6	B2	56.2		B1	30.6	B2	56.2	B1	0.0
	C1	2.5	C2	1.7	C1	8.3	C2	5.0		C1	8.3	C2	5.0		C1	8.3	C2	5.0	C1	53.7
読む	A1	55.4	A2	34.7	A1	0.0	A2	8.3	読む(2年)	A1	0.0	A2	8.3	読む(2年)	A1	0.0	A2	8.3		
	B1	5.0	B2	3.3	B1	54.5	B2	30.6		B1	54.5	B2	30.6		B1	54.5	B2	30.6	B1	0.0
	C1	0.8	C2	0.8	C1	5.0	C2	1.7		C1	5.0	C2	1.7		C1	5.0	C2	1.7	C1	53.7
	A1	43.8	A2	43.8	A1	0.0	A2	4.1		A1	0.0	A2	4.1		A1	0.0	A2	4.1	A1	0.0
	B1	8.3	B2	1.7	B1	47.1	B2	38.8		B1	47.1	B2	38.8		B1	47.1	B2	38.8	B1	2.5
	C1	2.5	C2	0.0	C1	7.4	C2	2.5		C1	7.4	C2	2.5		C1	7.4	C2	2.5	C1	41.3
やりとり	A1	43.8	A2	43.8	A1	0.0	A2	4.1	やりとり(2年)	A1	0.0	A2	4.1	やりとり(2年)	A1	0.0	A2	4.1		
	B1	8.3	B2	1.7	B1	47.1	B2	38.8		B1	47.1	B2	38.8		B1	47.1	B2	38.8	B1	2.5
	C1	2.5	C2	0.0	C1	7.4	C2	2.5		C1	7.4	C2	2.5		C1	7.4	C2	2.5	C1	41.3
	A1	33.1	A2	39.7	A1	0.0	A2	3.3		A1	0.0	A2	3.3		A1	0.0	A2	3.3	A1	0.0
	B1	21.5	B2	3.3	B1	32.2	B2	48.8		B1	32.2	B2	48.8		B1	32.2	B2	48.8	B1	0.0
	C1	2.5	C2	0.0	C1	12.4	C2	3.3		C1	12.4	C2	3.3		C1	12.4	C2	3.3	C1	46.3
発表	A1	43.8	A2	43.8	A1/A2		A1/A2		発表(2年)	A1	0.0	A2	3.3	発表(2年)	A1	0.0	A2	3.3		
	B1	8.3	B2	1.7	B1	47.1	B2	38.8		B1	47.1	B2	38.8		B1	47.1	B2	38.8	B1	2.5
	C1	2.5	C2	0.0	C1	7.4	C2	2.5		C1	7.4	C2	2.5		C1	7.4	C2	2.5	C1	41.3
	A1	33.1	A2	39.7	A1	0.0	A2	3.3		A1	0.0	A2	3.3		A1	0.0	A2	3.3	A1	0.0
	B1	21.5	B2	3.3	B1	32.2	B2	48.8		B1	32.2	B2	48.8		B1	32.2	B2	48.8	B1	0.0
	C1	2.5	C2	0.0	C1	12.4	C2	3.3		C1	12.4	C2	3.3		C1	12.4	C2	3.3	C1	46.3
書く	A1	43.8	A2	43.8	A1/A2		A1/A2		書く(2年)	A1	0.0	A2	3.3	書く(2年)	A1	0.0	A2	3.3		
	B1	8.3	B2	1.7	B1	47.1	B2	38.8		B1	47.1	B2	38.8		B1	47.1	B2	38.8	B1	2.5
	C1	2.5	C2	0.0	C1	7.4	C2	2.5		C1	7.4	C2	2.5		C1	7.4	C2	2.5	C1	41.3
	A1	33.1	A2	39.7	A1	0.0	A2	3.3		A1	0.0	A2	3.3		A1	0.0	A2	3.3	A1	0.0
	B1	21.5	B2	3.3	B1	32.2	B2	48.8		B1	32.2	B2	48.8		B1	32.2	B2	48.8	B1	0.0
	C1	2.5	C2	0.0	C1	12.4	C2	3.3		C1	12.4	C2	3.3		C1	12.4	C2	3.3	C1	46.3



他言語専攻2年生(7人)

	レベル		割合(%)		能力像		レベル		割合(%)		能力像		レベル		割合(%)		能力像									
	A1	A2	B1	B2	C1	C2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	A1	A2	B1	B2	C1	C2								
聞く	A1	0.0	聞く(2年)	A1	0.0	聞く(卒)	A1	0.0	聞く(卒)	A1	0.0	聞く(卒)	A1	0.0	聞く(卒)	A1	0.0	聞く(卒)	A1	0.0						
	A2	42.9		A2	14.3		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0	A2	0.0	A2	0.0		
	B1	57.1		B1	57.1		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6	B1	28.6	B1	28.6	B1	28.6
	B2	0.0		B2	28.6		B2	0.0		B2	71.4		B2	71.4		B2	0.0		B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0
	C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0
	C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0
読む	A1	0.0	読む(2年)	A1	0.0	読む(2年)	A1	0.0	読む(2年)	A1	0.0	読む(卒)	A1	0.0	読む(卒)	A1	0.0	読む(卒)	A1	0.0						
	A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0	A2	0.0	A2	0.0		
	B1	100.0		B1	100.0		B1	100.0		B1	100.0		B1	100.0		B1	100.0		B1	100.0	B1	100.0	B1	100.0	B1	100.0
	B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0
	C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0
	C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0
やりとり	A1	0.0	やりとり(2年)	A1	0.0	やりとり(2年)	A1	0.0	やりとり(2年)	A1	0.0	やりとり(卒)	A1	0.0	やりとり(卒)	A1	0.0	やりとり(卒)	A1	0.0						
	A2	42.9		A2	14.3		A2	14.3		A2	14.3		A2	14.3		A2	0.0		A2	0.0	A2	0.0	A2	0.0		
	B1	57.1		B1	57.1		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6	B1	28.6	B1	28.6	B1	28.6
	B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0
	C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0
	C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0
発表	A1	0.0	発表(2年)	A1	0.0	発表(2年)	A1	0.0	発表(2年)	A1	0.0	発表(卒)	A1	0.0	発表(卒)	A1	0.0	発表(卒)	A1	0.0						
	A2	42.9		A2	14.3		A2	14.3		A2	14.3		A2	14.3		A2	0.0		A2	0.0	A2	0.0	A2	0.0		
	B1	57.1		B1	57.1		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6	B1	28.6	B1	28.6	B1	28.6
	B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0
	C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0
	C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0
書く	A1	0.0	書く(2年)	A1	0.0	書く(2年)	A1	0.0	書く(2年)	A1	0.0	書く(卒)	A1	0.0	書く(卒)	A1	0.0	書く(卒)	A1	0.0						
	A2	14.3		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0		A2	0.0	A2	0.0	A2	0.0		
	B1	85.7		B1	85.7		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6		B1	28.6	B1	28.6	B1	28.6	B1	28.6
	B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0		B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0	B2	0.0
	C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0		C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0	C1	0.0
	C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0		C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0	C2	0.0

表 3-2-1 英語能力アキケート結果

英語専攻1年生(24人)				英語専攻2年生(7人)				英語専攻1年生(134人)				英語専攻2年生(9人)						
質問No.	can	can not		質問No.	can	can not		質問No.	can	can not		質問No.	can	can not				
5	100.00	0.00	聞く	5	100.00	0.00	聞く	5	88.81	11.19	聞く	5	88.89	11.11	聞く			
6	100.00	0.00		6	100.00	0.00		6	82.09	17.91		6	100.00	0.00		6	100.00	0.00
7	100.00	0.00		7	100.00	0.00		7	99.25	0.75		7	100.00	0.00		7	100.00	0.00
8	75.00	25.00		8	85.71	14.29		8	47.76	52.24		8	66.67	33.33		8	66.67	33.33
9	37.50	62.50	読む	9	57.14	42.86	読む	9	15.67	84.33	読む	9	33.33	66.67	読む			
10	30.43	69.57		10	14.29	85.71		10	13.43	86.57		10	22.22	77.78		10	22.22	77.78
11	100.00	0.00		11	100.00	0.00		11	100.00	0.00		11	100.00	0.00		11	100.00	0.00
12	91.67	8.33		12	100.00	0.00		12	92.54	7.46		12	100.00	0.00		12	100.00	0.00
13	100.00	0.00	や り と り	13	100.00	0.00	や り と り	13	95.52	4.48	や り と り	13	100.00	0.00	や り と り			
14	100.00	0.00		14	100.00	0.00		14	98.51	1.49		14	100.00	0.00		14	100.00	0.00
15	75.00	25.00		15	85.71	14.29		15	50.00	50.00		15	55.56	44.44		15	55.56	44.44
16	4.35	95.65		16	42.86	57.14		16	7.46	92.54		16	11.11	88.89		16	11.11	88.89
17	21.74	78.26	発 表	17	42.86	57.14	発 表	17	23.88	76.12	発 表	17	22.22	77.78	発 表			
18	87.50	12.50		18	100.00	0.00		18	79.85	20.15		18	100.00	0.00		18	100.00	0.00
19	79.17	20.83		19	85.71	14.29		19	68.66	31.34		19	100.00	0.00		19	100.00	0.00
20	75.00	25.00		20	100.00	0.00		20	50.00	50.00		20	66.67	33.33		20	66.67	33.33
21	45.83	54.17	書 く	21	57.14	42.86	書 く	21	22.39	77.61	書 く	21	66.67	33.33	書 く			
22	87.50	12.50		22	85.71	14.29		22	33.58	66.42		22	44.44	55.56		22	44.44	55.56
23	0.00	100.00		23	14.29	85.71		23	2.24	97.76		23	0.00	100.00		23	0.00	100.00
24	100.00	0.00		24	100.00	0.00		24	89.55	10.45		24	88.89	11.11		24	88.89	11.11
25	95.83	4.17	発 表	25	100.00	0.00	発 表	25	88.06	11.94	発 表	25	88.89	11.11	発 表			
26	91.67	8.33		26	100.00	0.00		26	67.16	32.84		26	66.67	33.33		26	66.67	33.33
27	45.83	54.17		27	71.43	28.57		27	18.66	81.34		27	11.11	88.89		27	11.11	88.89
28	58.33	41.67		28	71.43	28.57		28	12.69	87.31		28	22.22	77.78		28	22.22	77.78
29	20.83	79.17	書 く	29	0.00	100.00	書 く	29	2.99	97.01	書 く	29	0.00	100.00	書 く			
30	100.00	0.00		30	100.00	0.00		30	98.50	1.50		30	100.00	0.00		30	100.00	0.00
31	95.65	4.35		31	100.00	0.00		31	95.49	4.51		31	100.00	0.00		31	100.00	0.00
32	100.00	0.00		32	100.00	0.00		32	95.49	4.51		32	100.00	0.00		32	100.00	0.00
33	100.00	0.00	書 く	33	100.00	0.00	書 く	33	90.98	9.02	書 く	33	88.89	11.11	書 く			
34	91.30	8.70		34	100.00	0.00		34	78.20	21.80		34	77.78	22.22		34	77.78	22.22
35	91.30	8.70		35	100.00	0.00		35	24.06	75.94		35	22.22	77.78		35	22.22	77.78
36	60.87	39.13		36	28.57	71.43		36	8.27	91.73		36	0.00	100.00		36	0.00	100.00
37	4.35	95.65	書 く	37	0.00	100.00	書 く	37	0.76	99.24	書 く	37	0.00	100.00	書 く			
38	4.35	91.30		38	0.00	100.00		38	2.36	97.64		38	0.00	100.00		38	0.00	100.00

表 3-2-2 専攻語能力アンケート結果

他言語専攻1年生(107人)				他言語専攻2年生(7人)			
	質問NO.	can	can not	質問NO.	can	can not	
聞く	5	72.38	27.62	5	71.43	28.57	聞く
	6	52.34	47.66	6	71.43	28.57	
	7	90.65	9.35	7	85.71	14.29	
	8	10.38	89.62	8	14.29	85.71	
	9	10.38	89.62	9	0.00	100.00	
	10	—	—	10	—	—	
	11	75.70	24.30	11	85.71	14.29	
	12	52.34	47.66	12	85.71	14.29	
	13	45.79	54.21	13	85.71	14.29	
	14	55.14	44.86	14	85.71	14.29	
読む	15	7.48	92.52	15	28.57	71.43	読む
	16	8.41	91.59	16	0.00	100.00	
	17	11.21	88.79	17	14.29	85.71	
	18	82.24	17.76	18	85.71	14.29	
やりとり	19	47.17	52.83	19	85.71	14.29	やりとり
	20	28.97	71.03	20	71.43	28.57	
	21	10.28	89.72	21	14.29	85.71	
	22	14.15	85.85	22	28.57	71.43	
発表	23	9.35	90.65	23	0.00	100.00	発表
	24	77.57	22.43	24	85.71	14.29	
	25	54.21	45.79	25	85.71	14.29	
	26	27.10	72.90	26	71.43	28.57	
書く	27	12.15	87.85	27	14.29	85.71	書く
	28	8.49	91.51	28	14.29	85.71	
	29	6.60	93.40	29	0.00	100.00	
	30	86.79	13.21	30	85.71	14.29	
	31	72.64	27.36	31	85.71	14.29	
	32	66.04	33.96	32	85.71	14.29	
	33	36.79	63.21	33	85.71	14.29	
	34	26.42	73.58	34	85.71	14.29	
	35	7.55	92.45	35	14.29	85.71	
	36	6.73	93.27	36	0.00	100.00	
	37	5.77	94.23	37	0.00	100.00	
	38	5.10	94.90	38	0.00	100.00	